

9 小麦・大豆の国産化の推進

令和7年度補正予算額 7,008百万円

<対策のポイント>

産地と実需が連携して行う**小麦・大豆の国産化を推進**するため、**施肥・防除体系の構築等**による**生産性向上**や**増産**を支援するとともに、**国産小麦・大豆の安定供給**に向けた**ストックセンター等の再編集約・合理化**や民間主体の**一定期間の保管等**、**新たな生産・流通モデルづくり**や更なる利用拡大に向けた**新商品開発**等を支援します。

<事業目標> [令和5年度→令和12年度まで]

- 小麦生産量の増加（109万t→137万t）
- 大麦・はだか麦生産量の増加（23万t→26万t）
- 大豆生産量の増加（26万t→39万t）
- 国産小麦・大豆の保管数量（小麦：28,774 t→90,000t、大豆：6,258t→25,500t）

<事業の内容>

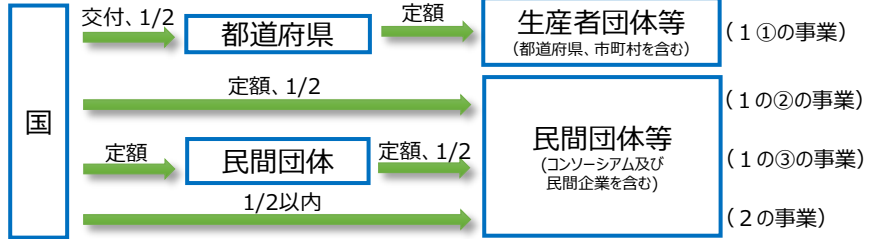
1. 国産小麦・大豆供給力強化総合対策 5,008百万円

- ① 生産対策（麦類生産技術向上事業）
麦の増産を目指す産地に対し、**施肥・防除体系の構築等**を支援します。
- ② 流通対策
ア 小麦・大豆供給円滑化推進事業
国産小麦・大豆を**一定期間保管**するなど、安定供給体制を図る取組を支援します。
イ **新たな生産・流通モデル事業**
麦の品質向上や極多収大豆の種子生産に加え、新品種の導入、フレコンの本格導入、実需者の加工試験など、**新たな生産・流通モデルづくり**を支援します。
- ③ 消費対策（麦・大豆利用拡大事業）
国産小麦・大豆の利用拡大に取り組む食品製造事業者等に対し、**新商品開発**等を支援します。

2. 新基本計画実装・農業構造転換支援事業のうち

小麦・大豆ストックセンターの再編集約・合理化 2,000百万円
国産小麦・大豆の安定供給を後押すため、**ストックセンター等の再編集約・合理化**を支援します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

①生産対策

麦の施肥・防除体系の構築
(定額、2,000円/10a以内)

生産性向上の推進 (定額)

②流通対策

・ ストックセンター等の整備 (1/2以内)
・ 一定期間の保管等 (定額、1/2以内)
・ 新たなモデルの実証 (定額、1/2以内)

③消費対策

新商品の開発等 (定額、1/2以内)

小麦・大豆の国産化を一層推進

【お問い合わせ先】
(1 ①、1 ②ア(大豆)、1 ②イ、2の事業) 農産局穀物課 (03-6744-2108)
(1 ②ア(麦)、1 ③の事業) 農産局貿易業務課 (03-6744-9531)